令和５年度　輪島市立鳳至小学校　前期　学力向上プラン

年間のゴールの姿

友達と語り合い、学び合うことで、自分をきたえることができる。

１　授業づくり

⑴　現状と課題（Ｒ）

|  |  |
| --- | --- |
| 児童生徒の課題 | 現状と要因・根拠となるデータ |
| 他者の考え方を理解し、その考え方を活用することに難しさを感じている。 | [現状と要因］  ○互いの違いを認め合いながら、自分の思いや考えを伝えることができるようになってきた。  △他者の考え方を理解し、その考え方を活用することができない。  →他者の考え方を生かす指導や働きかけが不足している。  [根拠となるデータ]  R4児童アンケート「話し合いを通して、自分の考えが広がったり深まったりした。」（65％）  R4県評価問題　算２（2）28.6％　算３（1）39.3％  R4市学力調査　５算１５（2）42.9％　４算１８3.3%　３算１８25％　２算８（26.1％） |

⑵　計画と実行（Ｐ・Ｄ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 具体的取組 | 評価項目 | 評価 |
| ・「鳳至っ子の心に灯をつける授業スタイル」に基づく授業実践を行う。  ・「語ろう！学ぼう！きたえよう！」モデルを活用した授業実践を行う。  ・算数活用問題リストを活用する。  ・学び合いの質を高めるため、学び合いの様子を見取り、中間評価を行う。  ・児童の思考の流れを想定し、思考の深まりを促す発問の工夫をする。  ・児童の曖昧な表現や不足している表現に問い返しをする。 | *・*成果検証「他者の考えのよさに気付いている。」　８０％  ・実施検証「学び合いの様子をもとに、適切な中間評価をしている。」　　　　　　　　　　　１００％  ・研究授業「他者の考えのよさをノート等に書き残している。」　　　　　　　　　　　　　　　８０％  ・診断テスト「これまでの学びを生かし、自分の考えを表現している。」　　　　　　　　　　７０％ |  |

⑶　検証と改善（Ｃ・Ａ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 評価項目（誰が、いつ） | 結果 | 取組の成果○・課題▲ |
| ４ | □児童アンケート（学担　月末）  □職員アンケート（学担　月末）  □客観的評価テスト（適時） | ８８％  ５８．３％  未実施 | 〇学校で取り組んでいくことが定まったことが一つの成果と言える。  ▲学びの中間評価に関しては、まだまだ不十分な所があるため、今後、どのような場面で、どのように働きかけていくか検討していく必要がある。 |
| ５ | □児童アンケート（学担　月末）  □職員アンケート（学担　月末）  □客観的評価テスト（適時）  □検証シート（山﨑教諭提案授業） | ６０．７％ |  |
| ６ | □児童アンケート（学担　月末）  □職員アンケート（学担　月末）  □客観的評価テスト（適時）  □検証シート（道下教諭研究授業）  □検証シート（奥野教諭提案授業） |  |  |
| ７ | □児童アンケート（学担　月末）  □職員アンケート（学担　月末）  □客観的評価テスト（適時）  □検証シート（和田教諭研究授業） |  |  |

|  |
| --- |
| 前期（Ⅰ期）取組の成果○・課題▲ |
|  |

２　基盤づくり

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 目標 | 具体的取組 | 評価 |
| 目、耳、心で聴くことができる。 | ・「語ろう！学ぼう！きたえよう！」モデルを柱に指導していく。  ・特に「聴く姿勢」を評価し、価値付けていくことを教職員が大切にしていく。 |  |